

A-77 コレステロールとアスコルビン酸—ステロイド生合成臓器における関連

長崎大・医・原研 発症予防 ○山下英理子

活水短大 家政 古場久代

目的 現在中高年者における血清コレステロールおよびアスコルビン酸量と摂取食内容との関連について、その解析を行なっているが、これらのことを理解する一助として、今回生体でアスコルビン酸の含量が最も多いと言われているステロイド生合成臓器（コレステロールを基質としてホルモンの生合成分泌を行なっている）におけるアスコルビン酸の役割について報告する。

方法 精巣静脈血を直接採取し、その血中のアスコルビン酸量と精巣ホルモン量を測定した。

結果 性腺刺激ホルモン投与時ではアスコルビン酸の血中分泌が精巣ホルモンの分泌に先行して増加する。しかしホルモン生合成阻害剤の投与ではアスコルビン酸および精巣ホルモンの血中分泌は起らない。